

トヨタ、スープラの走行性能をさらに熟成

—「SZ-R」に6速マニュアルトランスミッションを採用—

トヨタ自動車(株)は、スープラをマイナーチェンジし、本日より全国のトヨタカローラ店を通じて一斉に発売した。

今回のマイナーチェンジでは、3.0ℓエンジン(2JZ-GE)搭載の「SZ-R」にも、よりスポーティな走行を楽しむ6速マニュアルトランスミッションを新たに採用している。

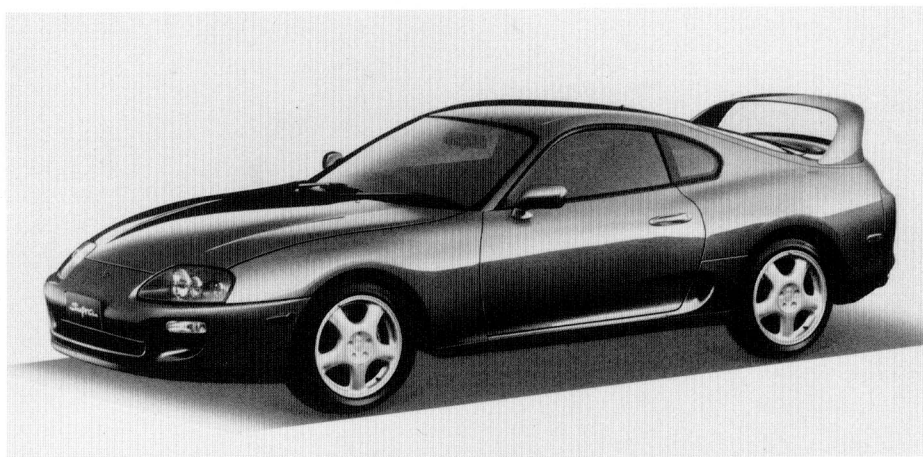
また、スポーツABSの採用をはじめ、シャシーをより洗練させ、“THE SPORTS OF TOYOTA”としての性能のさらなる向上を図り、スポーツカーが持つ操る楽しさをより実感できるものとしている。

さらに、外観デザインの変更や独立5眼メーターの採用などの内外装のリファインを行い、走りのイメージを一層強調している。

また今回、全車にABS、運転席・助手席SRS*エアバッグを標準装備するとともに、側面衝突対応の強化を行っている。

なお、月販目標台数は700台、店頭発表会は5月18日(土)、19日(日)を予定している。

* SRS : Supplemental Restraint System (乗員保護補助装置)



スープラ SZ-R [E-JZA80-ALFSF]
〈オプション装着車〉

【車両概要】

1. 「SZ-R」に6速マニュアルトランスミッションを採用

- ▷ 2JZ-GEエンジン搭載の「SZ-R」にも、GETRAG社(独)製6速マニュアルトランスミッションを採用。自然吸気エンジンの特性にあわせたギヤ比の設定により、エンジンの性能を余すことなく引き出し、走りの楽しさを一段と向上。

2. 走行性能のさらなる向上

- ▷ 足まわりの強化と熟成
 - ・ボデーのサスペンション取り付け部の剛性を高めるとともに、ショックアブソーバー、ブッシュ、コイルスプリングなどサスペンション構成部品を細部にわたりチューニングし、一段と優れた操縦性・走行安定性を実現。
- ▷ スポーツABSの採用
 - ・リニアGセンサーにより、車両旋回状態および路面状況を判断し、各々の状態できめ細かく制御を行うスポーツABSを一部グレードに新採用。

3. 内外装のリファイン

- ▷ 外観
 - ・引き締まった個性的なボデーをさらに印象づけるよう、細部の変更を実施。特に、ヘッドランプ、ターンシグナルランプ、バンパーグリルを中心としたフロントマスクのデザインの変更により、スポーティさを強調。
- ▷ 内装
 - ・インストルメントパネルを従来の3眼メーター(速度計、回転計、燃料計・水温計)から、燃料計と水温計を独立させ、新たにブースト計(2JZ-GTEエンジン搭載車)、または電圧計(2JZ-GEエンジン搭載車)を追加した独立5眼メーターを採用し、視認性およびスポーティ感をさらに向上。同時に、時計を独立5眼メーターのデザインにあわせたアナログとし、高性能スポーツカーがもつコックピットの雰囲気演出。
- ▷ 外板色
 - ・メカニカルな美しさを演出するグレイッシュグリーンマイカメタリック、スポーティ感を強調するブルーマイカメタリックを加えた全7色を新たに設定。

4. 安全装備の充実

- ▷ ABS、運転席・助手席SRSエアバッグを全車に標準装備。
- ▷ フロントおよびセンターピラー下部を強化し側面衝突時のキャビンの変形を抑制するとともに、ドアトリム内にエネルギー吸収材を設定し、米国の側面衝突基準レベルの乗員保護性能を確保。

【メーカー希望小売価格】

(消費税を含まず、単位：千円)

グレード	エンジン	トランスミッション	東京	名古屋	大阪
S Z	2JZ-GE (3.0ℓ)	5速マニュアル	2,920	2,915	2,920
		ECT-S	3,020	3,015	3,020
SZ エアトロップ仕様車			3,190	3,185	3,190
SZ-R		6速マニュアル	3,400	3,395	3,400
RZ-S	2JZ-GTE (3.0ℓターボ)	ECT-iS	3,590	3,585	3,590
		6速マニュアル	3,840	3,835	3,840
R Z			4,390	4,385	4,390

◎掲載写真(除くオプション)

ECT-S：電子制御式4速オートマチック(スポーツ)

ECT-iS：電子制御式4速オートマチック(インテリジェント・スポーツ)

以上